

表 犀川の基本高水ピーク流量の推移と全国の治水計画の実態との比較

経過	犀川の基本高水ピーク流量とその根拠	全国の治水計画の実態	法律／基準
昭和35年以前	615m ³ /秒 注:犀川大橋地点の流下能力		
昭和35年	930m ³ /秒 犀川総合開発事業(第一次)		
昭和47年	1600m ³ /秒 犀川総合開発補助事業全体計画(昭和47年7月)		
平成2年	1920m ³ /秒 犀川水系工事実施基本計画(平成2年7月)	工事実施基本計画の策定	旧河川法(昭和39年)、旧基準(カバー率50%程度以上)による
平成9年		河川整備基本方針と河川整備計画の策定	河川法の改正(平成9年)
平成15年	1750m ³ /秒 犀川水系河川整備基本方針(案)の提言(平成15年11月)		
平成16年			新基準の通知(平成16年3月30)
	1750m ³ /秒 犀川水系河川整備基本方針(平成16年7月)	河川整備基本方針の基本高水ピーク流量の設定	
平成17年	1750m ³ /秒 注:犀川水系河川整備計画(平成17年3月)の整備計画目標流量	河川整備計画目標流量 ≒ 河川整備基本方針の基本高水ピーク流量×0.8	

2009Nov09,naka